

ほほえみ

第9号 令和5年8月発行

発行者
社会福祉法人東京蒼生会
養護老人ホーム大森老人ホーム

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-2-2
TEL 03-3762-8851
FAX 03-3762-8920

正しい薬の取り扱いについて

美原薬局（平和島店）
田中氏にご協力頂き、薬の正しい取り扱いについて教えて頂きました。



薬の性質や病状によって決められています。

薬を受け取ったら、医師の指示通り正確に服用しましょう！

内服薬
起床時、食前、食後、食間、就寝前など

頓服薬
発熱時、疼痛時、不眠時、不安時、便秘時など

服用量や服用方法は、必ず医師や薬剤師に確認して、しっかり守って下さい。自己判断で量やタイミングを変更すると、思わぬ副作用を引き起こすことがあります。

服薬時の注意

薬を飲む時は、コップ一杯の水かぬるま湯で飲みましょう。お茶や牛乳、ジュースなどで飲むと効き目が弱まったりする事がありますので、お気を付けてください。
また、薬の量が合わなかったり、副作用によって具合が悪くなった場合にも、速やかに医師に相談しましょう。



薬の保管方法

薬は直射日光や高温多湿を避け、冷暗所に保管して下さい。薬によっては冷所保存のものもありますので、そのような指導を受けた時は冷蔵庫に保管しましょう。



薬の保存期間

処方期間内に使用し、古くなった薬や使わなくなった薬は処分しましょう。開封した点眼薬の使用期限は、清潔に使用していれば、開封後1ヶ月〜3ヶ月程度の期限内で使用できます。しかし、使用期限が短いものもあり、使用するので、必ず薬剤師に相談してください。

症状が似ているからと以前ももらった薬を服用しないでください。また、他人に薬を譲渡することは絶対に避けてください。



自己判断しないこと、何かあれば、必ず主治医や薬剤師に相談することが大切です。

サクラちゃん 新しい門出

ホームのアイドル、亀のサクラちゃん。専門店が引き取って頂けることとなり、6月中旬サクラちゃんお引っ越しとなりました。20年近くホームの様子を静かに見守ってくれていたサクラちゃん。お引越しは寂しいですが、新天地でも元気に過ごして欲しいですね。



☆☆ありがとうサクラちゃん☆☆

◆入退所状況
（令和5年7月末現在）
在籍者 125名

- 【入所】
- 加藤里子氏 (2階)
- 清水音信氏 (3階)
- 根岸ミチ子氏 (4階)
- 鈴木ミヤ工氏 (4階)
- 【退所】
- 鎌田美津子氏 (2階)
- 深尾征子氏 (2階)
- 仁平浩康氏 (3階)
- 長谷川裕歌子氏 (3階)

編集後記
猛暑が続き、熱中症での救急搬送の報道が日々多くされています。規則正しい生活を心がけ、暑さに負けず元気に過ごしましょう。クラブや行事を少しずつ再開していきます。ぜひ皆様ご参加下さい。



就任のご挨拶



施設長 山田裕之

日頃よりご利用者をはじめご家族、地域の皆様、その他多くの方々に温かいご支援、ご協力をいただき、感謝を申し上げます。

この度、令和5年7月1日付けで齊藤施設長の後任として施設長に就任しました山田と申します。6月までは同法人の特別養護老人ホームの勤務しており、大森老人ホームには6年ぶりの就任となります。

社会福祉法人 東京蒼生会に入職して30年の年が経ち、これまで多くのご利用者や先輩方から様々なことを学ばせて頂きました。振り返ってみると多くの方々に支えられ今日の自分があると思っています。
就任にあたりまして、法人理念にあります、一人ひとりが自らのかけがえの無い人生の“今”を最大限に充実されることを実践し、皆様が安心で心地良い毎日の暮らしが実感できますよう、自身の役割をしっかりと見据えながら、笑顔と感謝する気持ちを持ち忘れずに努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶



6月末日をもって施設長を退任することになりました。2年半の在任を振り返りますと新型コロナウイルス感染症が強く印象に残ります。2度のクラスターが発生しましたが、入所者のご協力と職員の尽力で乗り切れたことに感謝しております。

就任時のご挨拶でこの“ほほえみ”紙面に、坂村真民の「念ずれば花開く」の詩を紹介しました。ホームに暮らす入所者や職員が、たとえ小さな目標でも心に刻み、大輪の花咲くことを夢見て日々努力を重ねたいと記した記憶があります。

花を開かせるためにもまずは健康で「一笑一若」を忘れずホームでの生活に喜びを見出す努力が大事ではないでしょうか。結びに皆様の無事息災を心からお祈り申し上げます。

齊藤秀樹

活動報告

▼6月健康診断
年2回ある健康診断。無事
1回目検診を終えました。



▼ケーキバイキング♪
2階は「チーズケーキ」、
3・4階は「プリンアラモード」
を頂きました☆



▼防災訓練
避難経路の確認、各居室の
施錠・開錠動作の確認等
を行いました。



▼音楽レク
動画を視聴する形で音楽
レクを実施しました♪



熱中症対策

▼熱中症とは？
高温多湿な環境に長時
間いることで、体温調節
機能がうまく働かなくな
り、体内に熱がこもった
状態をいいます。屋外だ
けでなく室内でも発症し、
救急搬送されたり、場合
によっては死亡すること
もあります。



熱中症対策

- ・エアコンの上手な活用。
通気性の良い服の着用。
こまめな塩分、水分補給。
直射日光を避ける。
（日傘や帽子の活用）
規則正しい生活を送る。
（十分な食事や睡眠）



熱中症患者の大半が、
65歳以上の高齢者です。
高齢になると、暑さや
水分不足に対する感覚
機能や暑さに対する体
の調整機能が低下する
ので、特に注意が必要
です。

- ・イオン飲料水の提供
汗で流れ出た塩分補給♪
シャワー浴の開始
体を清潔に保持♪

外出支援

7月20日にバス外出を
行い、「大田区立郷土博
物館」へ行きました。



15人とやや少なめの参
加でしたが、2階・3階・
4階と全階の方が参加さ
れました。



「ワクワクしながらバスへ乗車」

昔の写真や映像を見て、
大田区の歴史を学ぶ良い
機会となりました。昔の
生活用品の展示もあり、
「こんな物もあったわね!」
「これ使ってたわよ!」
と興奮される一幕もあり
ました。



帰りは、少シドライブ
して、車窓からの街並み
を楽しみました。

「大田区の魅力再発見です」



博物館のミュージアム・
グッズは、くじ引きの景
品として順位に応じてお
渡ししました。3位は
「クリアファイル」、2
位は「手帳」、1位は
「絵ががき」。特賞の方
は「扇子」でした♪



また、参加者全員に、
大田区公式キャラクター
「はねびよん」が押し印
された「どら焼き」をお
配りしました。

「おいしく頂きました」



次回の外出支援を
お楽しみに♪

終戦記念

ご利用者の方へ、戦争体験について伺いました。
改めて日々の生活に感謝し、平和を願いました。

戦争前は女学校に通っ
ていました。戦争中は勤
労奉仕で、兵器廠（へい
きしょう）という所に行
かされ、毎日爆弾を作っ
ていました。当時の私は
不謹慎かもしれませんが、
それなりに仲間と楽しい
日々を過ごしていました。
ただ、空襲警報が繰り返
り鳴り響き、あちこち
に空襲があり、どんどん
死が身近に感じた時の恐
怖は言葉にできません。
空襲警報で逃げるたびに
「いつまで続くのだろう」
と嘆いていたので、終戦
の玉音放送が流れた時の
解放感は感無量でした。

今の人に戦争時代の事
実は伝えられても、その
時の人の心境や苦勞はな
かなか理解できないと思
います。それでも想像し、
あのような戦争時代が決
して再来しないよう、人
智を尽くしてほしいと願わ
ずにはいられません。

（3階 W）
（3階 Uさん）